

# 成長可能性に関する説明資料

---

株式会社アークン



- 本資料は、株式会社アークンの業界動向及び事業内容について、株式会社アークンによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社アークンの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2015年12月18日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社アークンによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

1. 会社概要	4
2. 市場動向	12
3. 当社の特徴・強み	17
4. 成長戦略	24

# 1. 会社概要

会社名	株式会社アークン
代表者名	代表取締役社長 蛭間 久季
設立日	2001年5月8日
資本金	26,768万円 (2015年12月18日現在)
所在地	東京都千代田区岩本町1丁目10番地5号 TMMビル5階
従業員数	30名 (2015年10月末)
事業内容	情報セキュリティソリューション事業
製品及びサービスの内容	<p>(1)アンチマルウェア及びクライアント版PC業務管理製品 アンチマルウェア機能にクライアント版のPC業務管理機能を追加したAhkun EX-AntiMalwareシリーズ及び同製品のOEM版のNRシリーズを開発・販売</p> <p>(2)PC業務管理サーバー 管理者はサーバーを通じて、各クライアントの作業履歴（作業状況やソフトウェアの使用状況など）を一元管理（収集&amp;集計）可能</p> <p>(3)Web・データベースセキュリティ製品 米国Imperva社の製品であるSecureSphereの販売及び保守を国内の従業員100名以上の企業や金融機関向けに提供</p> <p>(4)保守サービス</p>

- ▶ 当社は、社会（SOCIAL）役割や責任をベースとして会社の目的、価値基準を設定します
- ▶ 当社は、安全なネットワーク社会（SOCIAL）を実現するために貢献します

Security

ITセキュリティ事業を推進する

Objective

目的意識、目標を常に持つ

Contribution

社会貢献する

Innovation

技術革新を怠らない

Ace

分野でNo.1を狙う

Love

社会、人、地球環境への慈愛を持つ

## スパイウェア対策のパイオニア的存在

2001年5月	東京都千代田区神田に株式会社アークン（資本金20百万円）を設立
2004年1月	情報漏洩防止、データ・リスク管理ソリューション提供のためにImperva Inc.（米国）との業務提携
2004年6月	Imperva Inc.の情報漏洩防止、データ・リスク管理ツールである『SecureSphere』の販売開始
2004年12月	Vision Power Co.,Ltd.（韓国）と業務提携及び同社に資本参加
2005年6月	国産スパイウェアの研究開発強化に向けて、国内初のスパイウェアリサーチセンターを設立
2005年11月	総合的なアンチマルウェア対策を可能とする『Ahkun AntiMalware-V 4』の販売開始
2006年5月	『AntiMalware-ASP』が株式会社ぷららネットワークスが運営する『Business Plala』に採用される
2007年2月	ソフトウェアとハードウェア（ファイアウォールサーバー）が一体型である『Ahkun Antimalware-V 5』の販売開始
2012年9月	全て国産製品で構成される『Ahkun Ex-AntiMalware』の販売開始
2013年8月	企業のPC業務管理の支援を目的とする『Ahkun AutoDaily Server』の販売開始

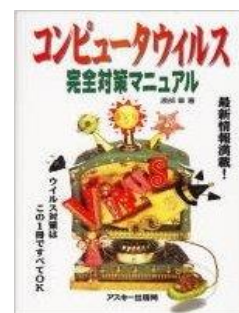
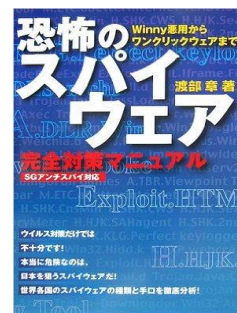
□ 2005年4月  
アンチスパイリリース



□ 2005年8月  
第5回ベクタープロレジ大賞 特別賞受賞



□ 出版書籍



## アンチマルウェア機能にクライアント版PC業務管理機能を追加

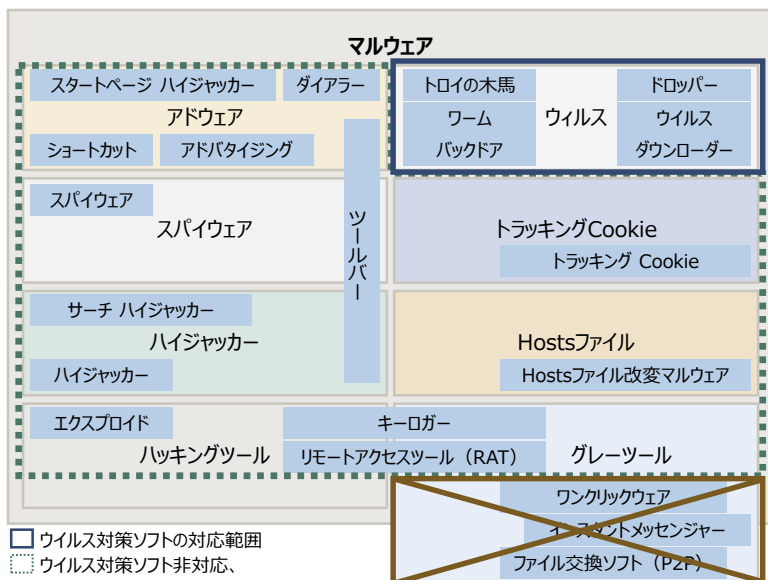


### アンチマルウェア機能

- マルウェアの「パターンマッチング」により、代表的なマルウェアのみならず、国内外で発生した幅広い種類のマルウェアの検知・対応を行う機能を搭載

### クライアント版PC業務管理機能

- USBメモリ、印刷の利用状況、使用アプリケーションなどを監視し、管理者に作業履歴をメールで報告する機能を搭載
- パソコン使用者を内部牽制することが可能となり、企業内におけるパソコンの不正利用や情報漏洩のリスクを低減



- ウイルス対策ソフトの対応範囲
- ウイルス対策ソフト非対応、または一部のみ対応
- ⊗ ウイルス対策ソフト非対応





## 『見られてる』という内部牽制により、情報漏洩防止・業務効率化を実現

各クライアントの作業履歴を一元管理  
ログ分析や多種レポートも作成可能

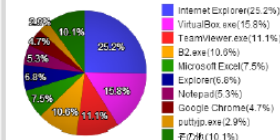
- ユーザー毎又は全体の作業内容の表示
- アプリケーションの利用率統計の表示
- ユーザー毎のプリント枚数やコストの表示
- USBメモリー等ファイルの持出し一覧の表示
- PC操作時間の表示
- リモートアクセス及び位置情報の表示
- クライアントの作業画面の表示 等

### 分析レポート例

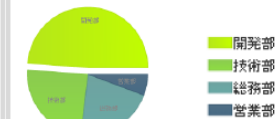
#### ◆ライセンス情報

- ・クライアント数 10
- ・有効期限 2014.10.10
- ・ライセンスステータス 有効
- ・サーバーバージョン 1.0

#### ◆ソフトウェア使用率



#### ◆利用禁止ソフト起動率



#### ◆利用禁止ソフト起動履歴

- ・2014.04.01 15:00 Baidu
- ・2014.04.01 15:00 Baidu
- ・2014.04.01 15:00 Baidu

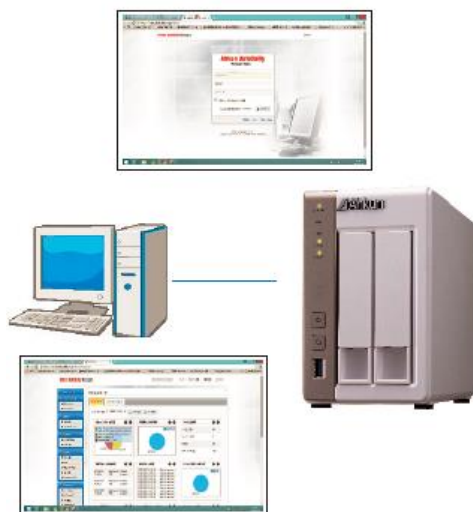
#### ◆直近ログオン履歴

- ・2014.04.01 15:00 user1 失敗
- ・2014.04.01 15:00 user1 成功
- ・2014.04.01 15:00 user2 成功

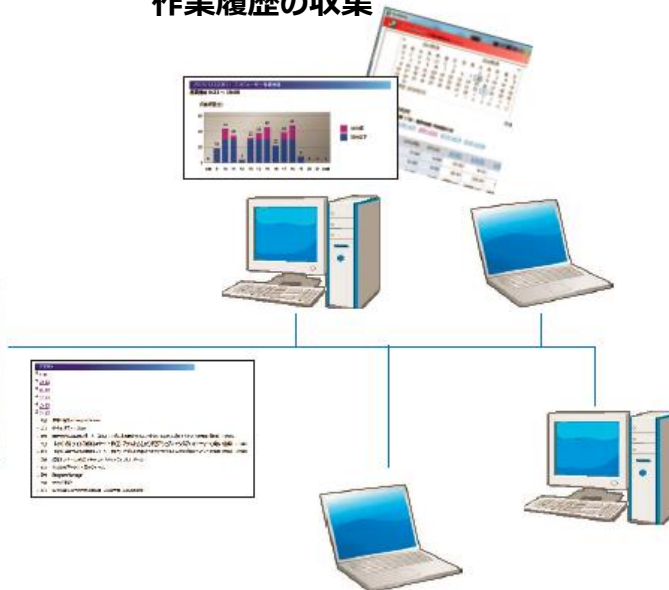
#### ◆Ex Antimalware導入率



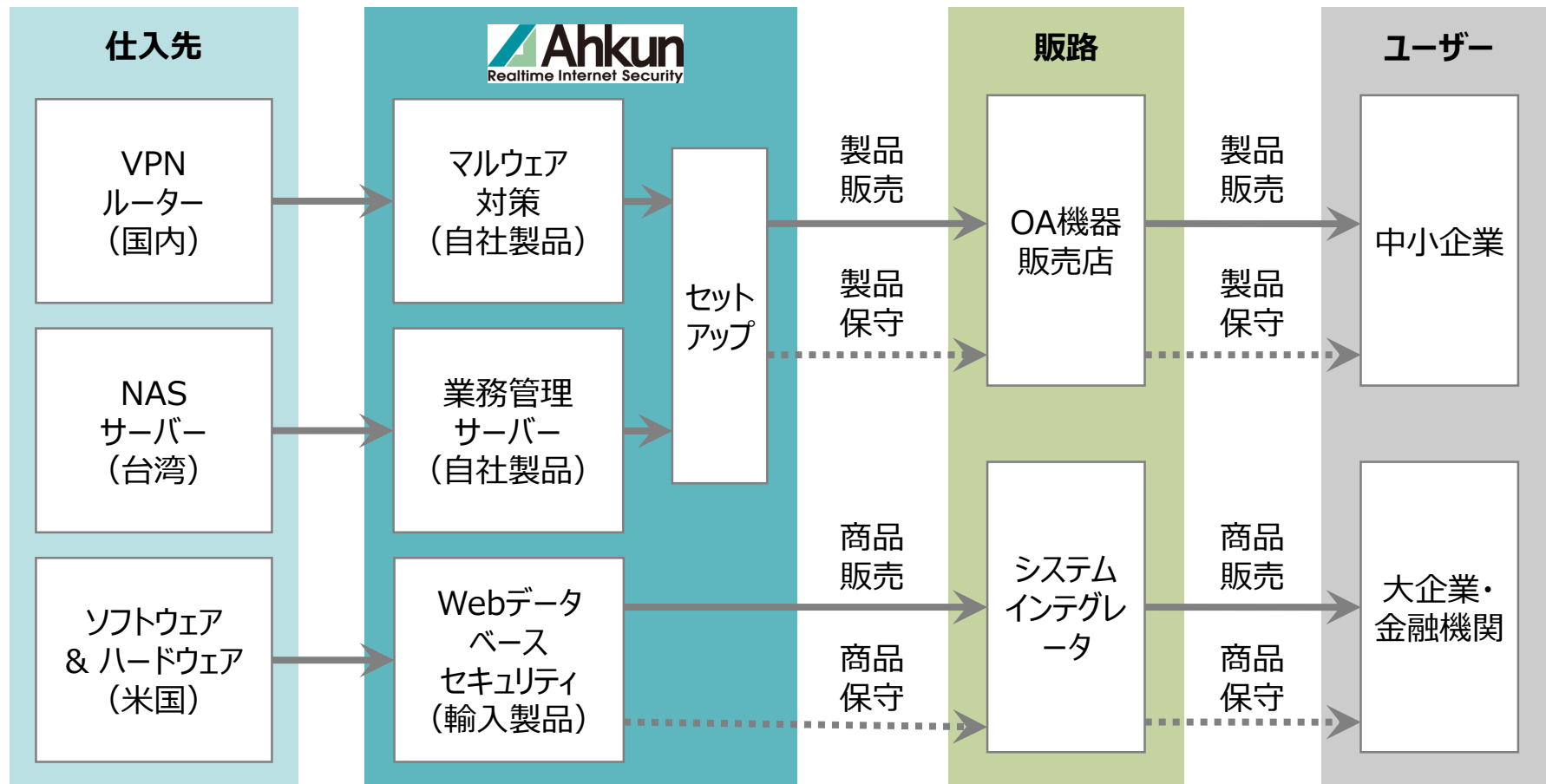
### 作業履歴の集計



### 作業履歴の収集

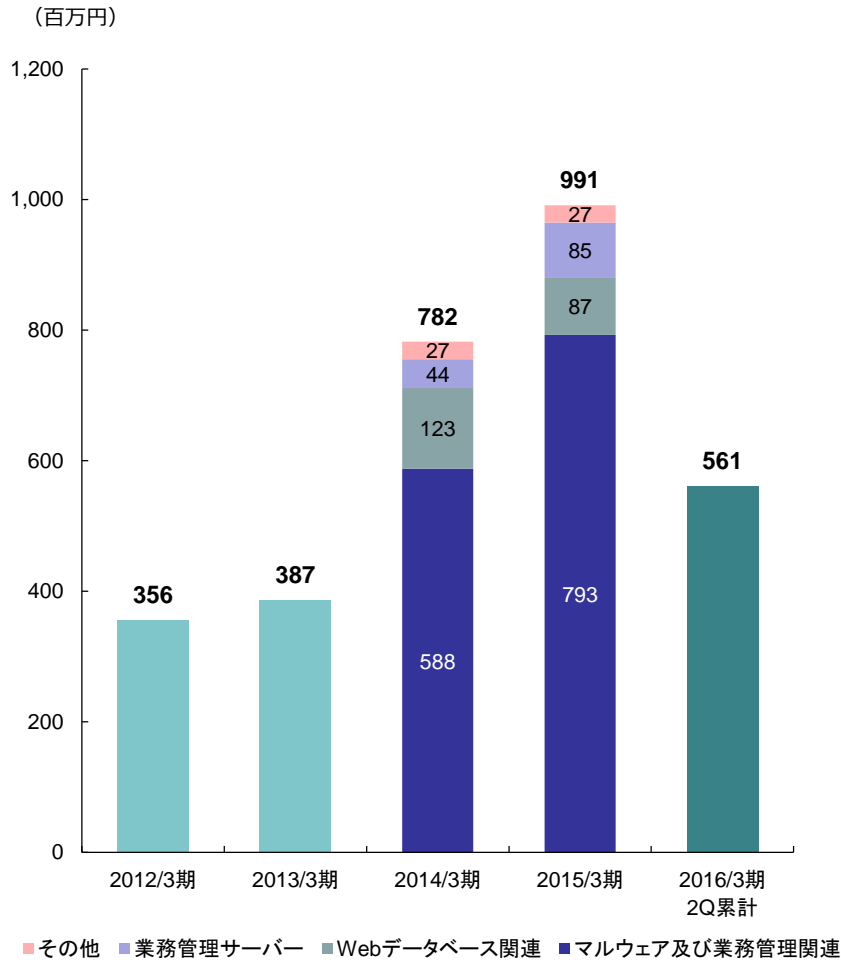


## OA機器販売店やシステムインテグレータを通じて販売

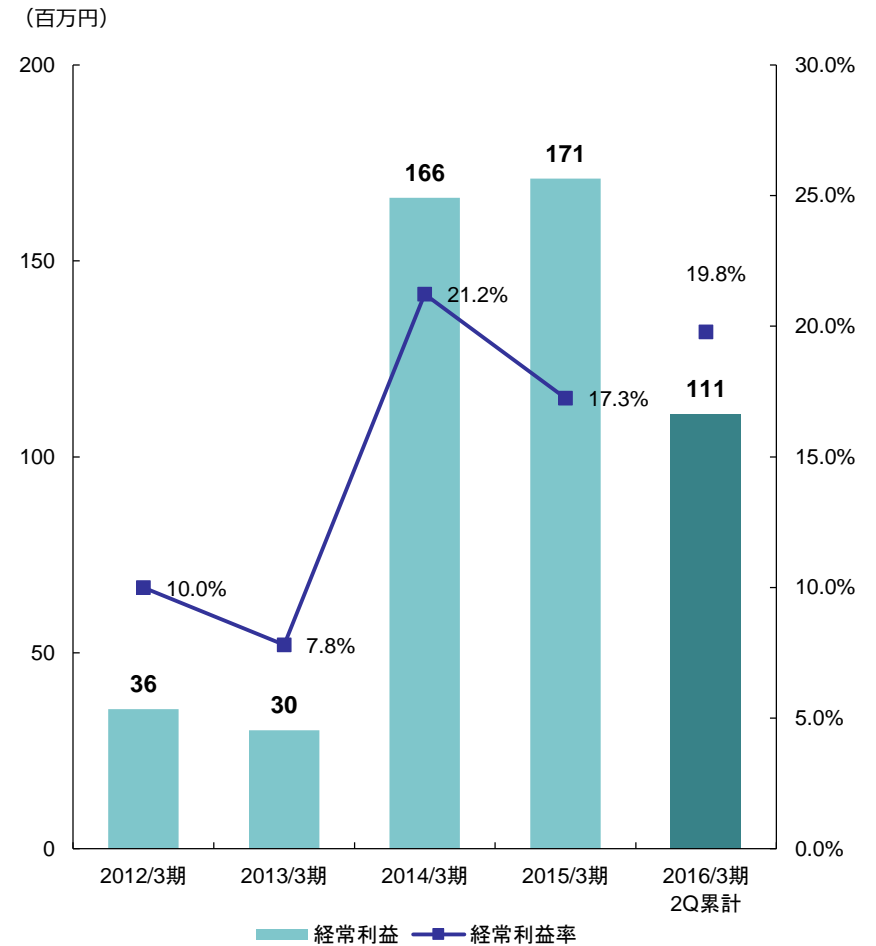


## アンチマルウェア製品等の拡販を背景に、2015/3期は2期連続の増収増益

### 売上高の推移

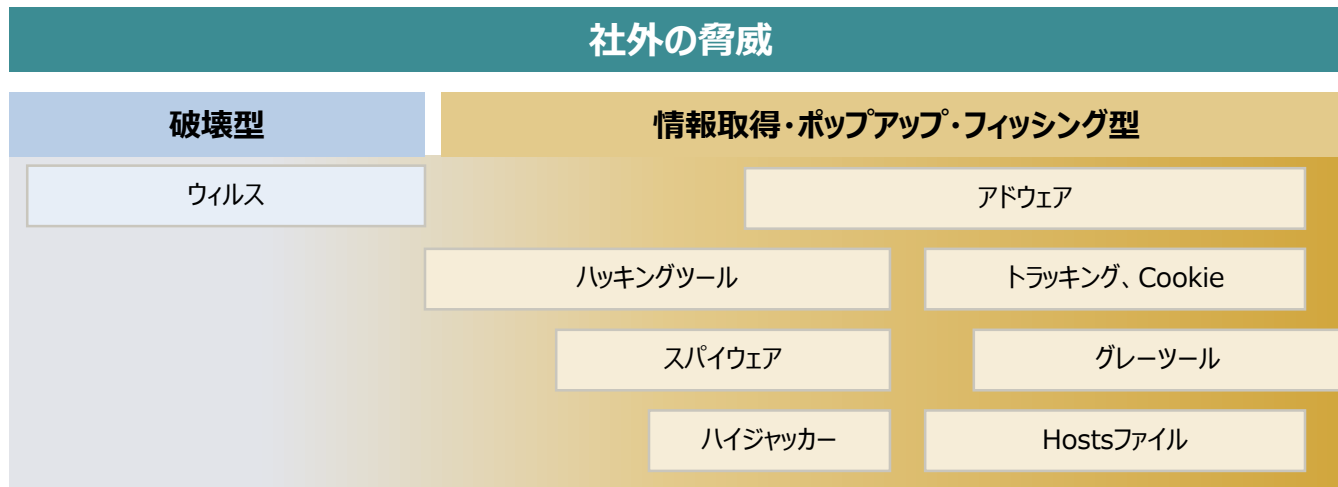


### 経常利益及び経常利益率の推移



## 2. 市場動向

## 破壊型にとどまらず、情報取得・ポップアップ・フィッシング型などへと脅威の領域が拡大



### 社内の脅威

社内の内部犯による  
情報取得



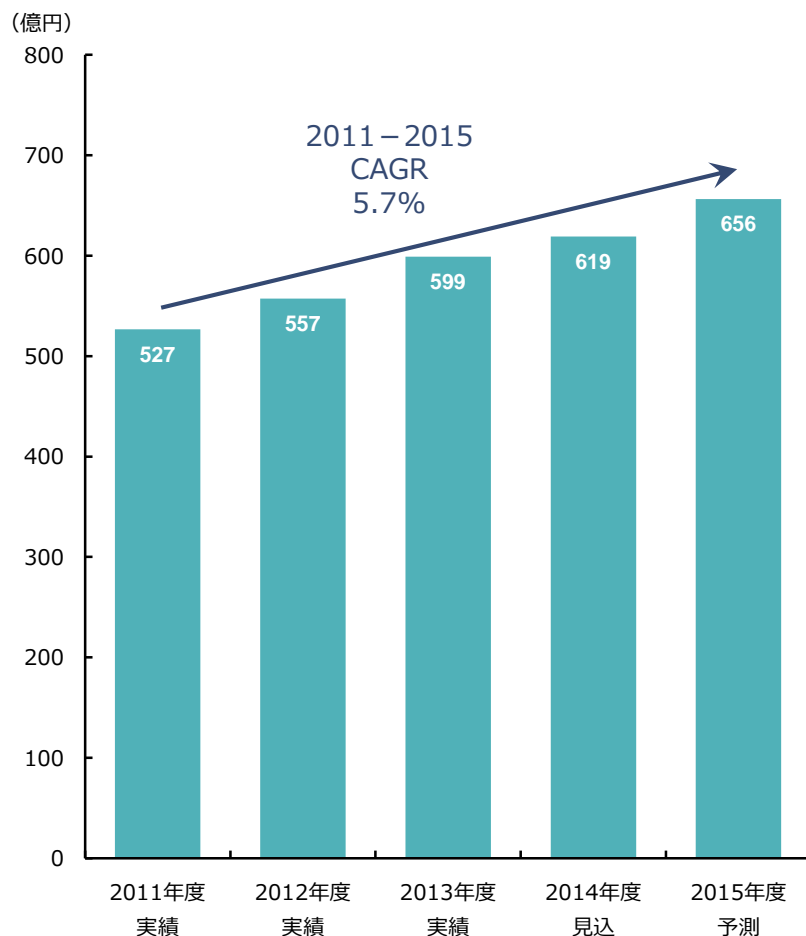
## 攻撃が巧妙化し、被害額が高額化

ウイルス対策  
のみでは不十分

- ネットバンキング不正送金が本格化し、法人被害が増加（全国銀行協会）  
2013年度：2,000万円 → 2014年度：12億3,400万円（内 法人34件：1億8,200万円）  
2015年度：4月だけで法人被害が300件（被害総額100億円以上の見込）
- 某国内企業が、韓国企業へ1,000億円の賠償請求（企業情報漏洩）
- 賠償金700億円以上の可能性、500円の商品券でも38億円（個人情報漏洩）

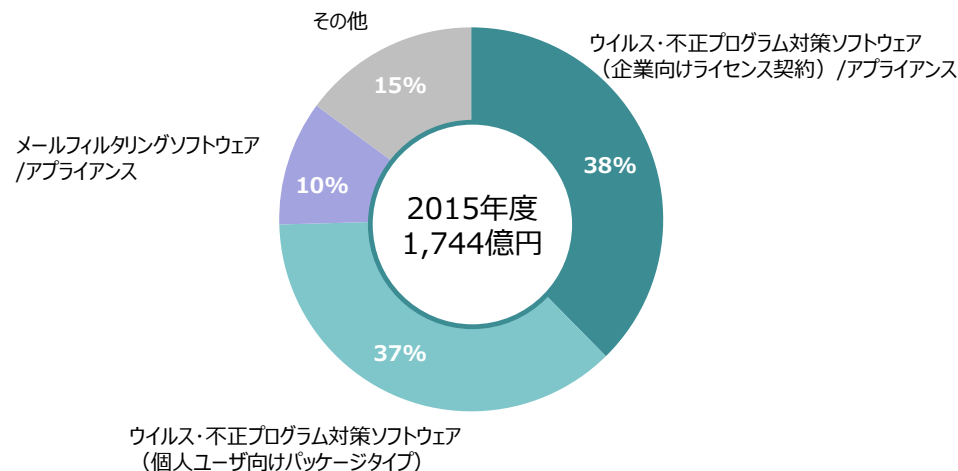
## 国内企業向けウイルス・不正プログラム対策ソフトウェア市場は2015年度に656億円に達する予測

### ウイルス・不正プログラム対策ソフトウェア (企業向けライセンス契約) / アプライアンス市場

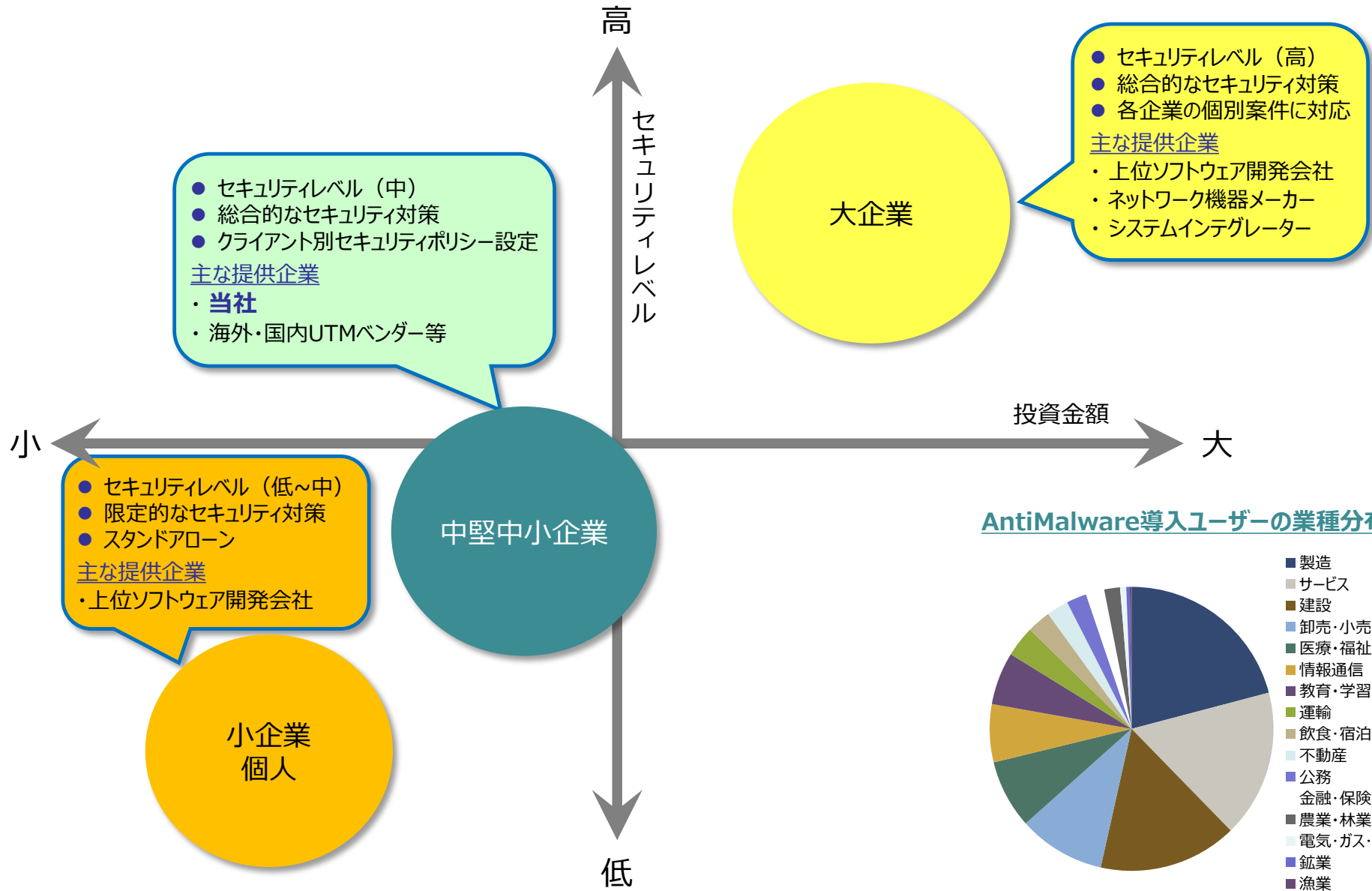


- 2012年までの市場はパソコン向けが主流
- 2013年度以降、タブレット型端末やスマートフォン向けのマルウェア対策製品の需要拡大
- 企業におけるウイルス対策の実施率は2007年度以降、ほぼ100%と推定
- 一方で、標的型攻撃、遠隔操作ウイルス、内部情報漏洩等を防ぐためのセキュリティ対策に対する理解が広く浸透

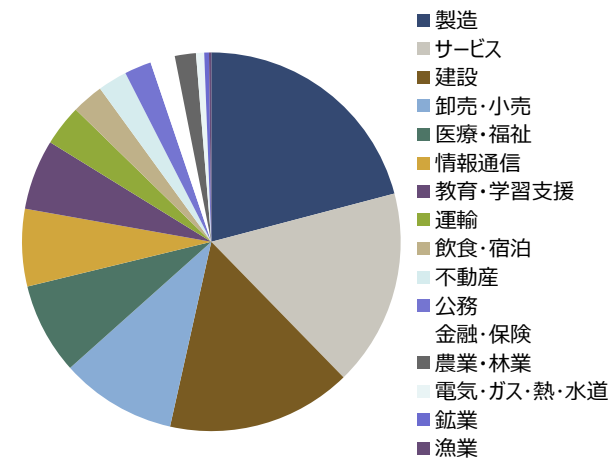
### コンテンツセキュリティ対策製品市場構成比



出所：NPO日本ネットワークセキュリティ協会（2015年6月4日発表）

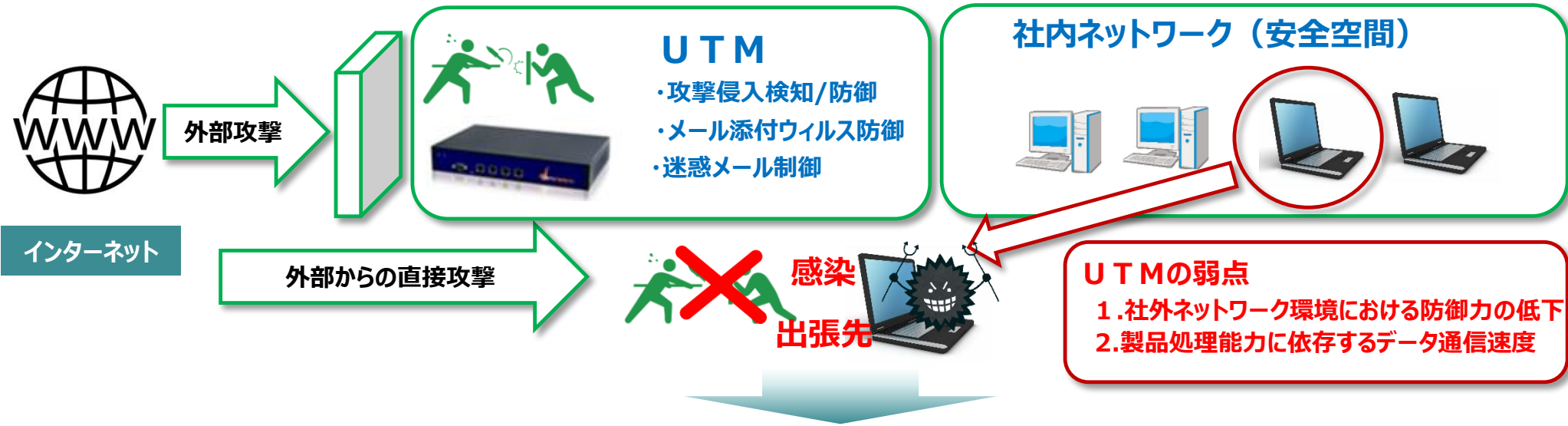


AntiMalware導入ユーザーの業種分布

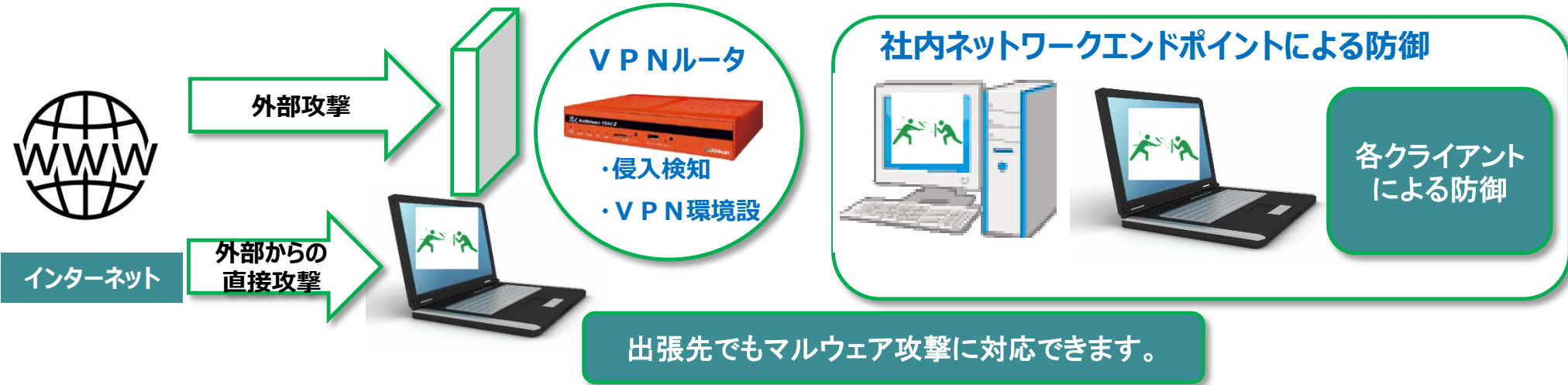


# 当社アンチマルウェアとU T M製品の相違点

## □ U T Mによる防御（インターネットの入り口による防御）



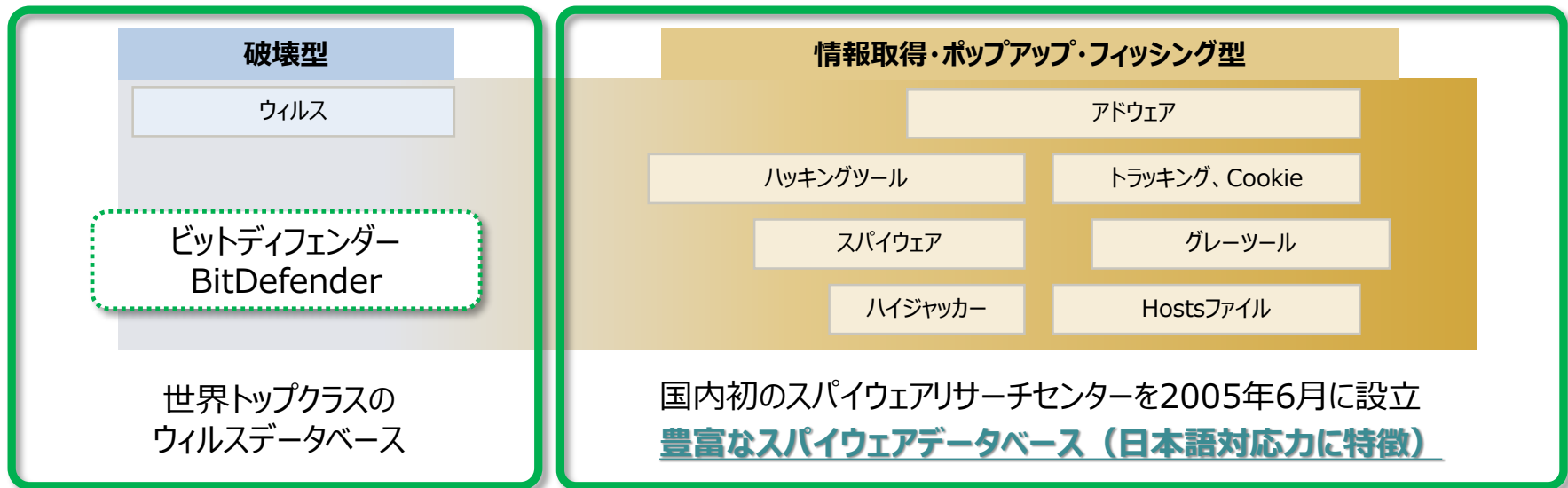
## □ 当社アンチマルウェア（エンドポイント（各クライアント））による防御





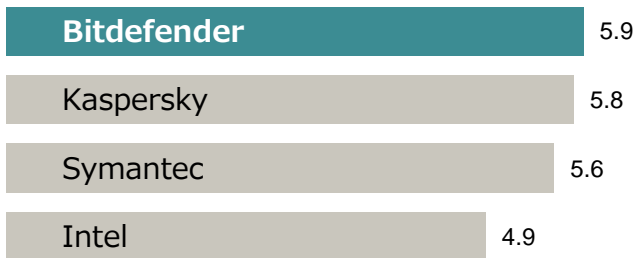
## 3. 当社の特徴・強み

## ダブルデータベースにより広範囲のマルウェア対策を実現



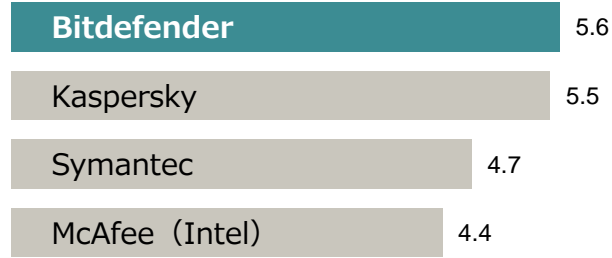
AV-Test.org（セキュリティソフトの比較検証を行う独立機関）による評価

### 【Best Protection】



Overall Score : 2011/1~2015/4

### 【Best Performance】



Overall Score : 2013/1~2015/4

注1 : 評価点数は6段階評価で、最高点数は6点  
出所 : <http://www.bitdefender.com/solutions/internet-security.html>

## 捕獲型のマルウェア処理により、柔軟なマルウェアリスク管理を実現

The screenshot displays the Ahkun EX AntiMalware interface. On the left, there are navigation buttons for 'スキャン' (Scan), '履歴' (History), 'オプション' (Options), and 'レポート' (Report). The main area shows scan results with a tree view of detected items and their risk levels. A legend at the bottom indicates risk levels: 非常に低い (Very Low), 低い (Low), 普通 (Normal), 高い (High), and 非常に高い (Very High). Action buttons for '処理' (Process), '除外' (Exclude), and 'ログのみ記録' (Log only) are visible.

マルウェア (0)

- ウイルスワーム (0)
- トロイの木馬/ハッキングツール (0)
- アドウェア (0)
- スパイウェア (0)
- ハイジャッカー (0)
- その他 (0)
- トラッキングCookie (0)
- Hostファイル改変マルウェア (0)
- グレーツール (0)
- 圧縮ファイル (0) - 圧縮ファイルは解凍後処理してください。

危険度  非常に低い  低い  普通  高い  非常に高い

マルウェアを一旦、隔離

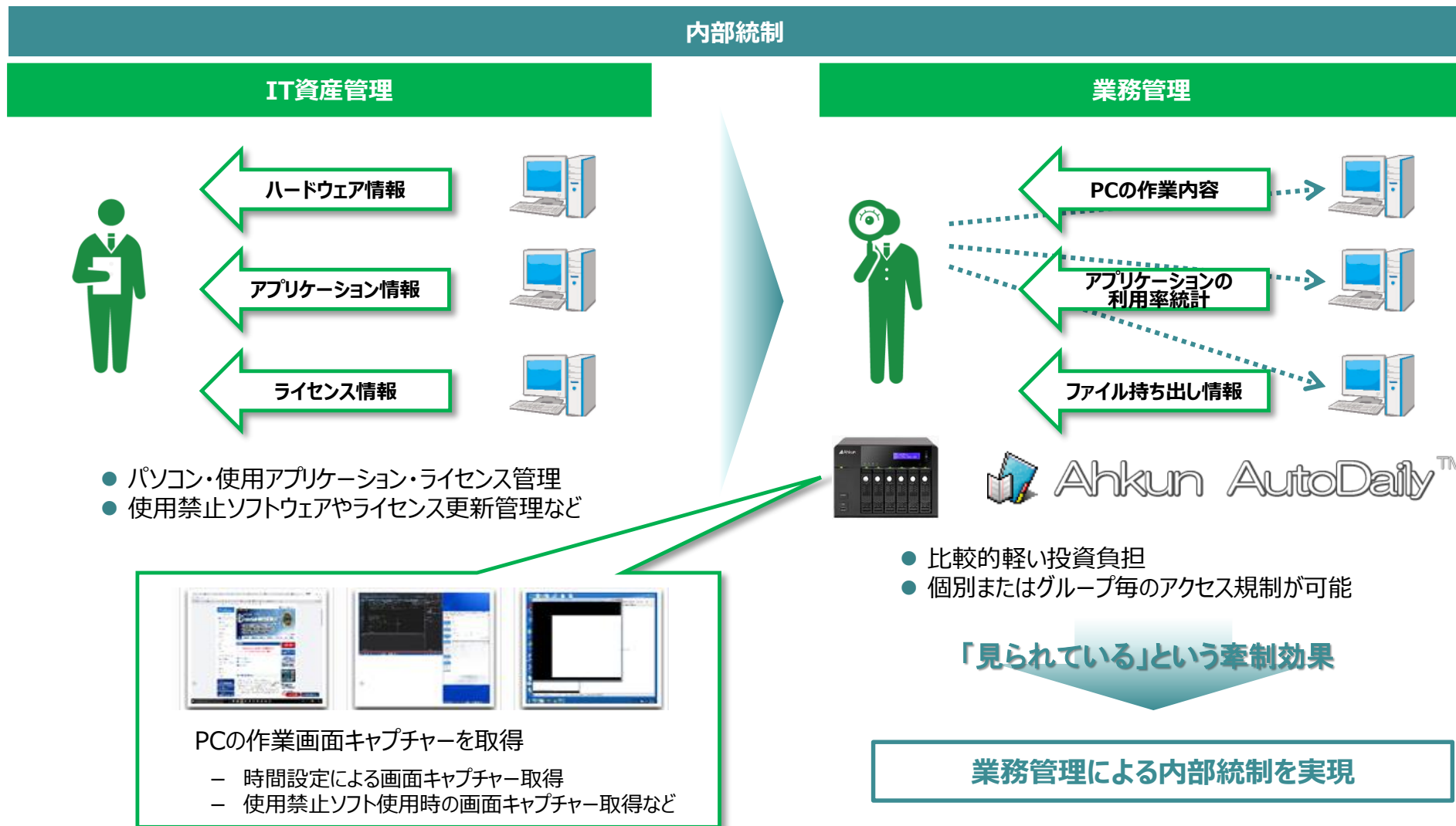
処理方法を選択

チェックした項目の処理方法を選択してください。

処理 除外 ログのみ記録

一部マルウェアの有効活用

## アクセス権による規制ではなく、業務ルールの策定管理



一元管理を通じて最適なネットの利用環境を実現

Ahkun EX AntiMalware™

Ahkun AutoDaily™



全てのクライアントPCを一元管理

クライアントPC毎にセキュリティポリシーを設定

クライアントPC



リモートアクセスツール



グレーツール



USB使用



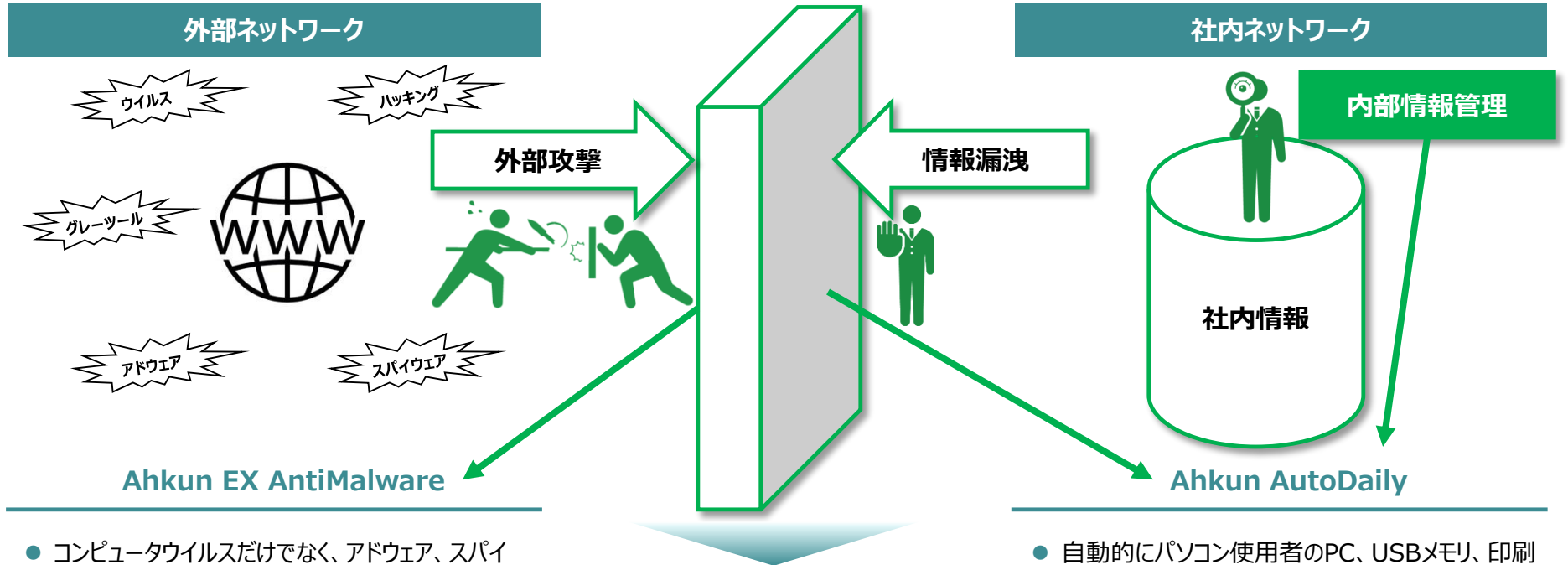
規制

Trade off

利便性

規制と利便性のバランスを考慮しつつ最適なネットの利用環境を実現

## 社内外の脅威に対し、総合的なソリューションを提供



- コンピュータウイルスだけでなく、アドウェア、スパイウェア、ハッキングツールといった全般的なマルウェアに対応可能
- 独自のマルウェアデータベースと世界最高レベルの検知能力を誇るウイルス対策ベンダーのデータベースを統合してサービスを提供

当社製品のみで社内外からのセキュリティ攻撃対策が可能

- 自動的にパソコン使用者のPC、USBメモリ、印刷の利用状況、使用アプリケーションなどを監視し、管理者にパソコン使用者の作業履歴を報告することで、PCの不正利用や情報漏洩のリスクを低減
- PC業務管理をサーバー上で実現でき、瞬時にクライアントの作業状況を分析

USBからのマルウェア対策



USBによる情報漏洩対策

## 中小企業向け営業ノウハウを持つOA機器販売店と密接な関係を構築

### 代理店であるOA機器販売店

- 中小企業向けの営業ノウハウ
- 様々なオフィス機器の販売経験
- 中小企業の豊富な顧客基盤

【OA機器販売店の主な取扱製品】



ビジネスホン



電話回線



電話交換機



コピー機

新たな商材としてセキュリティに着目



Ahkun EX AntiMalware



Ahkun AutoDaily Server

- 手離れ良く、売り易い

OA機器販売店から高い評価を獲得

大手通信会社の取扱商品に選定

## 主要な販売先の属性

OA・通信機器販売会社

OA・通信機器メーカー系販売会社

通信会社系販売会社

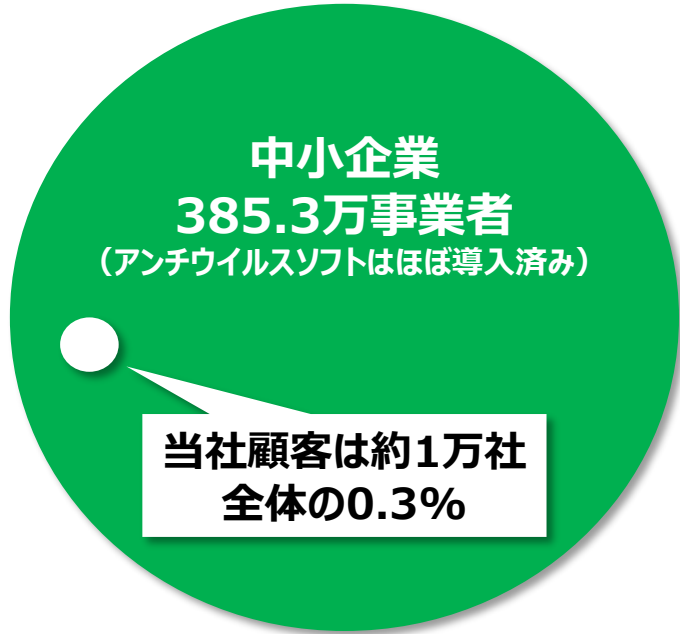
通信機器メーカー

## 4. 成長戦略



# クロスセルによる既存ビジネスの拡大

## 社内外からのセキュリティ対策実現に向けてクロスセルを推進



**ネット環境の変化**

- 複雑化、多様化したサイバー攻撃の増加
- 内部情報漏洩事故の多発及び損害金の高額化
- マイナンバー制度導入による個人情報管理の強化

**取引先からの要求**

- ネットセキュリティレベルの強化
- 情報管理の強化

アンチウイルスソフトだけでは不十分に

**当社セキュリティソリューション**

<b>総合的な マルウェア 対策</b>	<b>内部情報 管理</b>
Ahkun EX AntiMalware	Ahkun AutoDaily Server

両製品を導入することで、リーズナブルな投資額で  
社内外からのセキュリティ攻撃対策を実現

## 東日本の販売代理店との連携強化や通信機器メーカーへの提供等を開始

現状は西日本の販売代理店向けが主流



当社がセットアップ ● 自社ブランド製品  
● OEMブランド製品

販売・保守

OA機器販売店  
(西日本の販売代理店)

販売・保守

中小企業

中小企業

中小企業

今後成長が期待される商流  
(短期間で営業チャネルを大幅に拡大可能)



販売・保守

通信機器メーカー  
(独自の全国向け販売ルートを保有)  
当社ソフトを組み込んで自社製品のUTM機能を強化

販売・保守

OA機器販売店  
(東日本の販売代理店)

OA機器販売店  
(東日本の販売代理店)

OA機器販売店  
(東日本の販売代理店)

OA機器販売店  
(西日本の販売代理店)

OA機器販売店  
(西日本の販売代理店)

OA機器販売店  
(西日本の販売代理店)

販売・保守

中小企業

中小企業

中小企業

中小企業

中小企業

中小企業

中小企業

中小企業

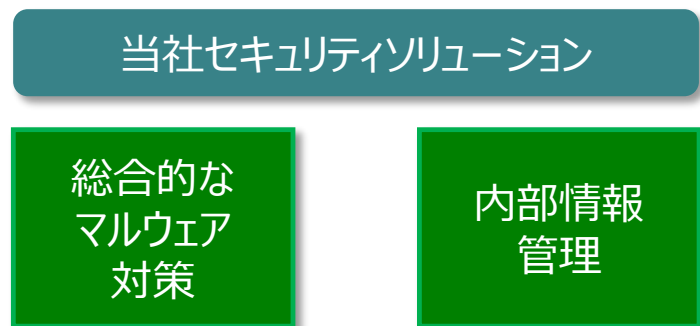
中小企業

中小企業

中小企業

中小企業

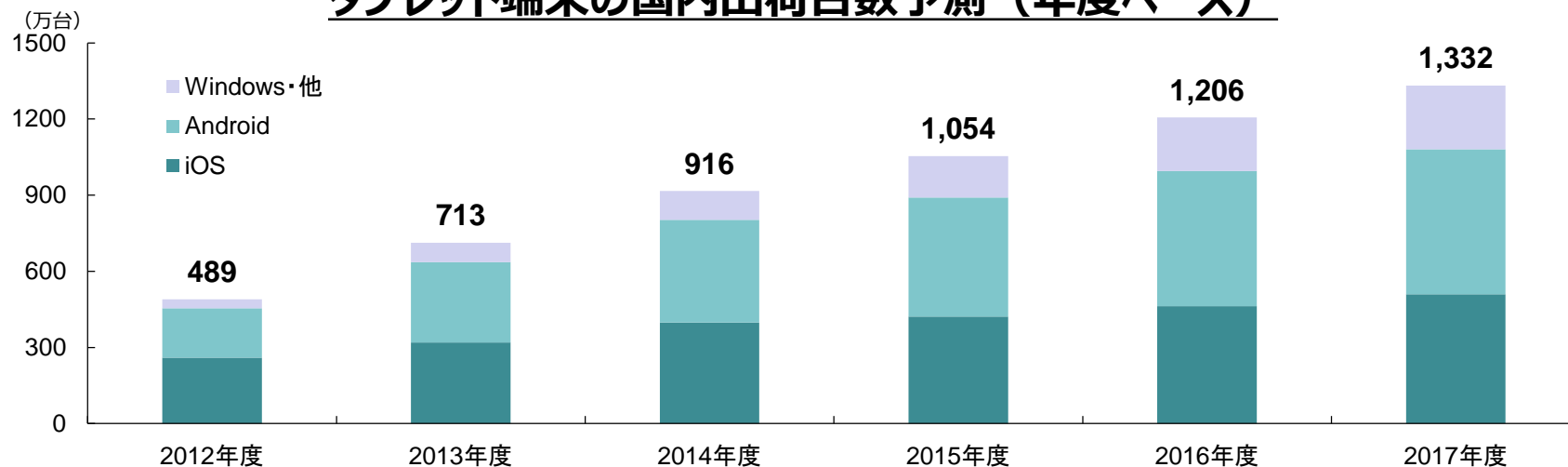
## ネット環境や市場動向（新デバイス等）の変化に対応した製品開発を計画



- 多様なスマートデバイスへの対応
  - MacOS
  - Android
  - その他
- クラウド対応



## タブレット端末の国内出荷台数予測（年度ベース）



注1 年度ベース：4月から翌年3月。2015年以降は予測値  
 注2 タブレット端末の定義：タッチスクリーン入力の可能な6~11インチ程度のディスプレイを備えたスレート型情報通信端末  
 注3 電子書籍専用端末は含まない  
 出所 ICT総研

新規チャンネル

2

## 新規チャンネルの開拓

- 東日本の販売代理店
- 通信機器メーカー

4

## 周辺領域への進出

- システムインテグレータルートを活用
- 東南アジアなど新興マーケットの開拓

既存チャンネル

1

## クロスセルによる既存ビジネス拡大



Ahkun EX AntiMalware



Ahkun AutoDaily Server

3

## 新製品・新機能の投入

クラウド



既存製品

新規製品

